

郡上市

議会だより



2023.2

第75号

題字「郡上市」は、
郡上市立川合小学校6年生
和田 かなさんの
作品です。



川合小学校伝統の米づくり

より開かれ
信頼される
議会をめざして



Citrus Ribbon
PROJECT

目次

市議会が市長に政策提言	2
11月臨時会・12月定例会 主な内容	4
意見書の提出	5
議長の動向・国及び県への要望	6
委員会行政視察報告	7
一般質問〈郡上の課題を問う〉	10
クイズの答え・皆さんからの声	17
クイズコーナー・編集後記	18

市議会が市長に政策提言



11月30日に、議長、副議長、3 常任委員長を含む議会運営委員が市長に対し全部で13項目の提言を行いました。各常任委員会が、行政評価をはじめ視察や各種団体との意見交換会などの活動を通して課題を検討し、その結果を反映させた政策提言となっています。

掲載文は抜粋です。詳しくは郡上市議会ホームページをご覧ください。

総務常任委員会

1 過疎対策事業債の活用（行政評価結果からの提言）

令和4年度から市全域が過疎地域に指定されたことを受け、財政上有利な過疎対策事業債の活用が市全域で可能になるため、過疎対策事業債枠の十分な確保に努められたい。

2 ワークেশションの推進

ワークেশションとは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で普段のオフィスとは離れた場所で休暇を楽しみながら働くスタイルの事で、関係人口の創出・増加や地方創生、地域活性化、テレワークの推進などの施策とリンクしており、さまざまな期待が寄せられる。

3 公共交通

市はワークেশション自治体協議会に加盟されており、自治体間のネットワークを通じて、さらなる推進に努められたい。

令和5年度からの「（仮称）郡上市地域公共交通計画」の策定に向け、各地域の市民が利用し

やすく、準空白地域における市民の足の確保が実現可能な計画となるよう進められたい。

長良川鉄道については、観光誘客による交流人口、関係人口などの増加を図る施策も積極的に展開されているが、毎年度、財政的な負担を余儀なくされ、今後も鉄道施設の維持管理に多額の費用を必要とすることは必至な状況である。



復古デザインのおくみの号

また、長良川鉄道と平行して運行しているバス路線に対する補助が重複している現状や、他の鉄道会社にもみられる公有民営による上下分離方式への移行、BRT（バス高速輸送システム）やDMV（道路、線路の両方を走行）の導入などの情勢を踏まえつつ、公共的な必要性の検討だけでなく、経営的な観点

においても、市の方向性を示されたい。

4 ソサエティ5・0の郡上市づくりへの取り組みの加速

ソサエティ5・0は政府が第5期科学技術基本計画で提唱した考え方で、超スマート社会、AI時代、IOT時代と呼ばれている。

その到来が10年から15年後と考えられているが、対応できる「人づくり」が重要となる。

このソサエティ5・0の到来を見据えた人づくり施策を構築する取り組みを加速されたい。

産業建設常任委員会

1 森林の保全管理（行政評価結果からの提言）

①森林整備後の木材利用、伐採促進策について

切り倒し後の木材利用についても調査、研究し、木材の有効活用が図られるよう進められたい。

②森林整備事業の総合的な整備について

森林の危険箇所に対する各事業があるが、より広範囲な箇所に対処できるような施策も検討されたい。

森林所有者が自ら進んで整備したいと思える新たな支援策などを検討されたい。

2 林業従事者の安全・衛生対策の支援

林業従事者の安全・衛生対策が進むよう関連研修の充実を図



林業作業時に使用される防護服など

り、防護服・緊急通報装置等の購入に対する補助について検討されたい。

3 市内農産物の地産地消体制の構築

地産地消体制を構築するため、学校給食はもとより、農産物流通促進事業の市民利用をより促進し、市内農産物購入に対する補助も継続され、多くの流通を産む仕組みづくりを積極的に進められたい。

4 観光施設整備の推進

特に収益がある施設や今後の道路整備により集客が期待できる施設について、施設の現状把握、将来性を調査し、修繕、設備更新、駐車場の拡大など積極的に実行するよう努められたい。

5 道路整備

生活の基盤である道路整備については、市民の安全に影響がないよう予算を確保し、継続した事業実施に努められたい。特に要望が多い市道については、早期の対応を検討されたい。

また、歩行者の安全を確保するため、危険箇所を把握し、早期に適切な道路幅員の確保や万全な安全対策を進められたい。

文教民生常任委員会

1 学校教育におけるタブレットの活用（行政評価結果からの提言）

タブレットは、「新時代の教育ツール」であるが、活用方法によっては書く力や、人間形成などにおいてマイナスの影響を

もたらすことも懸念されるので、教職員の研修や授業実践事例研究などにより、活用方法の研究やICT活用指導力の向上を図られたい。

また、教科間や学校間で差が出ないよう取り組まれたい。

2 県指定重要文化財若宮家住宅及び周辺施設の保存管理

白鳥町長滝白山神社の宮司の若宮家住宅は建築物として市内唯一の県の重要文化財に指定されている。

現在修繕が必要な状態となっているが、十分な調査、検証と今後の活用の在り方を見据えた修繕計画を立て適切な保存管理をされたい。

また、修繕にあたっては過大な予算とならないよう配慮されたい。

3 社会福祉における重層的支援体制の整備に向けて

複雑で多様化するニーズにある地域社会生活の中で安心して暮らすためには、これまで行ってきた各種支援事業の枠組みを超え、生活における課題解決に

向けて、相談支援や地域づくり支援の一体化を目指さなければならぬ。

そのためには、これまでよりも敷居の低い相談窓口を開設し、相談機関の連携を図り、機能的で実効性を高めるための組織の構築を進められたい。

また、課題解決の活動を通しての地域づくりに向けた支援の拡充に努められたい。



現在の福祉関連の相談窓口の様子

4 郡上偕楽園建設に向けた事業の推進

建設工事予定の郡上偕楽園移転整備事業は、高齢者福祉に直接影響するものであるので可能な限り市民の意見を幅広く聴き建設計画に反映されたい。

11月臨時会

令和4年度郡上市一般会計補正予算

3億6009万8千円増額

(全会一致)

主な補正予算内容

- 生活者物価高騰緊急支援給付金給付事業

物価高騰に伴い家計への影響が大きい低所得者世帯に対し1世帯あたり2万円を給付

3052万1千円

- 農作物次期作支援事業

物価高騰に伴う市内農業者などへの次年度農産物生産支援として令和3年度の税申告に基づく肥料費及び諸材料費の5%分を補助(上限50万円、下限5千円)

2214万7千円

- 新型コロナウイルス商工緊急対策事業

エネルギー価格高騰により影響を受けている事業者に対し、光熱費の一部を支援(中小法人上限50万円、個人事業主上限10万円)

2億1970万円

- 現年補助・単独災害復旧事業

令和4年9月発生台風14号豪雨災害による補正 9860万円

12月定例会

令和4年度郡上市一般会計補正予算

4億3711万7千円増額

(全会一致)

主な補正予算の内容

- ふるさと寄附啓発事業

ふるさと寄附件数及び金額増加見込みに伴う増(1500件、3千万円分の増加)

1180万6千円

- 高校生等医療費助成事業

福祉医療費受給者証交付開始による助成件数増加に伴う増(入院38件、入院外9414件の見込)

1607万1千円

- 医療機関新型コロナウイルス対応支援事業

コロナワクチン接種の協力医療機関に対する支援(21医療機関・

ワクチン接種7万6206回分)

867万1千円

- 子育て世帯負担軽減給付金給付事業

18歳までの子育て世帯3326世帯へ1万5千円給付

5035万7千円

- 郡上クリーンセンター管理運営費

物価高騰に伴う光熱費・燃料費の補正 6013万3千円

- 自給飼料生産基盤拡大緊急対策支援事業

農業法人へ細断型ホールフロップ収穫機(稲収穫機)1台補助 581万8千円

- 郡上市産材住宅建設等支援事業

補助申込の増加に伴う増

708万円

- 新型コロナウイルス商工緊急対策事業

感染症拡大防止協力金の市負担金確定による増

2390万4千円

- 社会資本整備総合交付金事業

事業費(高鷲牧場2号線舗装他2路線)の確定見込みによる増

1883万1千円

- 出産・子育て応援交付金事業

妊娠時から出産・子育てまでの

相談・経済的支援事業

妊娠届出時5万円、出生届出後5万円を支援 2541万3千円

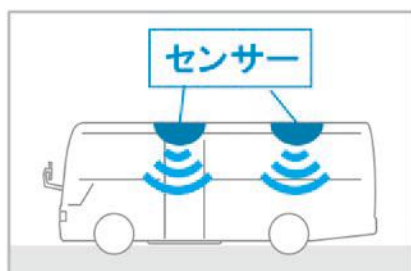
- 庁用車整備事業・保育環境改善事業

送迎用バス園児等置き去り防止のための安全装置設置事業

公立保育園、幼稚園、小中学校、私立保育園、認定こども園に対して1台20万円を補助 980万円



降車時確認(押しボタン)式



自動検知式

置き去り防止を支援する安全装置(国土交通省HPより)

条例の制定・一部改正

(全会一致)

主な制定・改正

- 郡上市職員の定年等に関する条例の一部改正

定年年齢の引き上げとともに役職定年制、定年前再任用短時間勤務制を導入

- 郡上市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定

デジタル社会の形成を図るため個人情報保護に関する法律の一部改正の施行に伴い、所要の規定を整備

- 郡上市土地改良事業分担金賦課徴収条例の一部改正

県営事業の国ガイドラインの改正に伴い、地元負担分が軽減(県営かんがい排水事業の場合、地元分担金の率が100分の5から100分の3に減)

人事案件

(全会一致)

- 郡上市農業委員会委員の任命同意

任期満了のため候補者の任命について同意

候補者 19名

任期 令和5年3月1日から令和

8年2月28日までの3年間

工事請負変更契約の締結

(全会一致)

大和統合小屋内運動場新築工事建築資材価格の高騰等による増額変更後 4億8132万9千円

指定管理者の指定

(全会一致)

- やまと総合センターの指定管理者の指定

指定団体 スポーツフラッグG
指定の期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間

財産の処分

(全会一致)

市所有の雑種地(和良町横野地内)を(株)ハルカインターナショナルに売却

売払い価格 2697万3千円

市道路線の認定

(全会一致)

宇留良・高畑線(八幡町那比)延長 530m

請願

- 消費税インボイス実施延期求める請願 (不採択)

国へ意見書を提出しました

森林環境譲与税は森林整備及びその促進に関する費用として市町村において活用されていますが、人口の多い都市部への配分額が高く、森林整備を必要とする山間部の自治体への配分額に影響を与えていることから、森林整備をより効果的に推進することができるよう譲与基準の見直しを国に求める意見書を提出しました。

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、我が国の国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加や担い手の不足等が大きな課題となっている。

このような中、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要なた地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税が創設された。

国から譲与される森林環境譲与税は、市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」として活用されている。しかしながら、市町村間における森林環境譲与税の配分割合は、私有林人工林面積(50%)、人口(30%)、林業就業者数(20%)を基準に算定されているため、人口が多い都市部に配分額が過度に高くなり、森林整備を必要とする山間部の自治体の配分額に影響を与えているのが現状である。

よって、国においては、森林整備をより効果的に推進するために必要とする山間部の自治体に対して、より多くの配分がなされるよう譲与基準の見直しを強く要望する。

全国市議会議長会 「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する特別委員会」 第2回委員会

美谷添生副議長は、議長代理として、田代はつ江議長が参加した第1回委員会に続いて令和4年11月14日に開催された第2回委員会に参加しました。



全国35市議会で開催されており、全国都市会館にて、開催されました。

委員会として来年2月に予定している国への要望・提言の取りまとめに向けて、プラスチック資源循環の基本的考え方、資源循環の課題と促進についての講演やパネルディスカッションが行われ、海洋プラスチック問題の現状や先進的な各都市の政策について聴講し、他市議会と問題意識を共有しました。

全国過疎地域連盟総会

美谷添生副議長は議長代理として、令和4年11月15日に開催された全国過疎地域連盟総会に参加しました。



会員相互間の意思の疎通と結束の強化を図り総会が開催されました。

令和3年に新たに施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法のもと、過疎地域に対する総合的かつ積極的な支援を引き続き行い、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要であることを決議しました。

あわせて財政基盤の確立をはじめ、地方創生・人口減少の克服、安心・安全に暮らせる生活基盤の確立、デジタル化の推進とインフラ整備、地域資源を活用した産業振興と雇用創出、集落対策の促進・地域活性化など6項目について国に要望することとなりました。

国及び県行政機関への要望

事業の促進や新規採択などの来年度予算確保に向けて、県議会議員及び市長とともに、議会から議長・各常任委員長が参加し、要望活動を行いました。

中部地方整備局・岐阜国道事務所

日程 令和4年10月13日

内容 東海北陸自動車道「飛騨清見IC」白川郷IC」4車線化の早期事業化、事業区間の整備促進、濃飛横断自動車道「堀越峠工区」の国による権限代行での早期事業化、一般国道156号郡上大橋架替・歩道整備の事業推進。

岐阜県県土整備部

日程 令和4年11月25日

内容 濃飛横断自動車道「堀越峠工区」の国による権限代行での早期事業化への支援と「和良工区」の早期事業化、一般国道156号の郡上大橋架替・歩道整備の事業推進への支援、一般国道256号の道路改良の事業推進。

岐阜県林政部

日程 令和4年11月25日

内容 林業振興と山村の活性化を図るための林道等路網整備の推進、災害に強い森林づくりの推進、木材生産及び木材利用の推進。

岐阜県農政部

日程 令和4年11月25日

内容 農山村活性化の推進、農業農村整備事業の推進、農家への経営安定対策の推進。

国会議員・関係省庁

日程 令和4年10月24～25日

国会議員 金子俊平衆議院議員・渡辺猛之参議院議員・大野泰正参議院議員・佐藤信秋参議院議員・足立敏之参議院議員・進藤金日子参議院議員・宮崎雅夫参議院議員
関係省庁 総務省、財務省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省



要望の様子

総務常任委員会

10月18日▼兵庫県洲本市

「過疎地域指定」について

洲本市では本市と同様に市全域が過疎地域に指定されたことを受け、洲本市過疎地域持続的発展計画の変更を行い、地域の特性を生かした魅力ある地域づくりを展開しています。中でも、地域と大学の連携事業ローカルイノベーション、再生可能エネルギーを地域資源とするあわじ環境未来島構想は、バイオマス発電太陽光発電、風力発電、小水力発電により、電力自給率が4%から40%となるなど、まち・ひと・しごと総合戦略の連動による好循環を生むまちづくりが行われていました。



洲本市役所での視察の様子

洲本市は、淡路島の「島！感」特有の感覚を上手くブラッシュアップし、市外に向けた発信力をも高め、環境特性を有効に利用した今後の持続可能な地域づくりを加速させていました。

10月19日▼滋賀県東近江市

「小さな拠点づくり」について

奥永源寺地区では、「道の駅 奥永源寺溪流の里」を行政・地域・生活・医療の拠点として、旧政所中学校の跡地利用として、平成27年10月にオープンしました。事業主体は東近江市、運営は一般社団法人奥永源寺溪流の里、さらに、地域住民の任意団体「溪流の里サポーターズ」がトイレの花瓶・水槽の手入れ、雪かき、毎週日曜日開催の山里市場（畑で採れた新鮮な野菜や山菜、甘酒や木工製品などが並ぶ）の取り組みなど協力していました。中でも、道の駅を拠点に、自動運転車両が運行されており、令和3年4月～令和4年5月までの1年1か月の利用者は延べ1923人で、内90%の観光利用（キャンプ、周遊）実績がありました。持続可能な地域の存続が危惧される中、地域の拠点として活用される

ことは大きな意義があります。地域の拠点として多機能（行政・地域・生活・医療）を持たせることが重要であり、地域住民は安全・安心に暮らすことができ、特に、高齢者は道の駅との関わりによって生きがいを持ち地域内雇用の創出で若者のUターンやYターンに繋がることから参考になる取り組みでした。



道の駅奥永源寺溪流の里にて説明を受ける

10月19日▼岐阜県大垣市

「養老鉄道」について

経営状況は、令和元年度は収益分を基金に積み立てることができましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で損失分を基金から補填していました。令和3年度も基金を切り崩し、令和4年度は改善しているものの電

気代の高騰により収支は厳しい状況にありました。

公有民営による上下分離で、上（鉄道の運営）は養老鉄道株式会社が行うこととなり、鉄道経営に専念できる状況となっており、下（鉄道施設及び車両の保有など）は一般社団法人養老線管理機構が行い、鉄道事業再構築事業実施計画による国の支援を受け、車両機器の更新や線路設備の改良を進め工事費は沿線7市町村で負担していました。

長良川鉄道の今後の運行や経営の安定化に関して本市の今後の方向性の検討の参考とするための視察でしたが、国の地方鉄道の再構築に関する提言もまとめられていることから、公共的な必要性、公共交通の選択肢としての現状や公有民営（上下分離方式）への移行などの情勢を踏まえながら、長良川鉄道の在り方を考える機会となりました。



養老鉄道株前にて

産業建設常任委員会

10月26日▼奈良県葛城市

「葛城市クリーンセンター」について

葛城市クリーンセンターは国定公園内に設置されており、特に環境に配慮した施設建設が行われているとのことでした。具体的には周辺環境との調和、施設の圧迫感の低減、敷地の緑化などに配慮されていました。また、熱回収施設・リサイクル施設の両施設を合棟にし、運転員の作業動線などを簡素化している点なども工夫されていました。施設内だけ



グリーンセンター見学の様子

でなく、廃棄物を持ち込む市民の安全に配慮することも強調されていた点が印象に残りました。

10月27日▼兵庫県尼崎市

「キャッシュレス決済及び観光戦略」について

本市が昨年12月から実施した「郡上ふるさとコイン」の先駆的な存在である「あま咲きコイン」はSDGsを推進するために導入されたことから、市民がSDGsに関する取り組みに参加したり実行したりすれば、ポイントが付与されるという仕組みで運用をされていました。本市でも導入を検討すべき先進的な取り組みであると感じました。

また、カードとアプリの二つの利用方法があり、市民が選択できるメリットがあるが、カードの維持費用や読み取り機械の導入など多額の経費がかかる点などデメリットもあると感じました。

「観光戦略」については、観光地でないだけに、新たに立ち寄り人口を増やすにはどのようにすればよいか、ゼロベースで取り組まれていました。公募で採用された、アパレル会社でマーケティングをされていた方が中心となり、若い女性をターゲットに、

明確なコンセプトをもってマーケティングに基づいた合理的な施策展開がされていました。



市民の活動でポイント付与

10月27日▼兵庫県神戸市

「兵庫楽農生活センター」について

「農」を体験し実践できる施設の視察しました。農業入門からプロの経営まで習得できる「楽農学校」では、多くの方が自身のニーズに合わせたコースで知識や技術を習得されていました。また生産だけでなく、加工や販売施設もあり、「作って食べてもらう・買ってもらう」までを一つの施設で完結できるものとなっていました。

兵庫県産にこだわったレストランも敷地内にあり、新鮮な野菜が中心ということもあつてか、若い女性客で賑わっていました。

10月28日▼兵庫県佐用町

「町有林化促進事業」について

森林経営管理法に基づき、所有者が管理に困っている山林を町が引き取るという全国的にも革新的な取り組みをされています。所有している山林の位置に関係なく、樹種と1haあたりの立木本数に応じて、買い取っており、地籍調査が済んでいない箇所でも当事者が同意すれば、実際の面積と異なっているかもしれないが、森林台帳をもとに買い取るという大胆な手法をとられていました。一方で買取や寄付を受けた後の維持管理に課題があるとのことでした。



事業について説明を受ける

文教民生常任委員会

11月14日▼岐阜県揖斐川町

学校法人西濃学園

「不登校支援及び

施設運営」について

学校法人西濃学園は、不登校の子ども支援を目的に、全面受容（子どもたちをありのままの姿で受け入れること）を基本方針とし、教師や心理学の専門家、不登校経験者、親などがスタッフとなり、人とのふれあい、思いやりなどの体験を積み重ねながら共同の寮生活を中心に運営をされていました。

校内の様子や授業を視察し、教師と生徒とのしつかりとした信頼関係



学園長から説明を受ける

が築かれていると感じました。



学園内で学校行事を紹介（夏山登山）

11月15日▼滋賀県長浜市

社会福祉法人

長浜市社会福祉協議会

「地域福祉の推進」について

長浜市社会福祉協議会は「地域の

絆でとも

に育み支

えあい安

心して暮

らせるま

ち長浜」

を基本理

念に、地

域住民や

民生委員

・児童委

員、福祉

保健関係



重層的支援体制整備事業について説明を受ける

機関、ボランティア、行政機関などとの連携・協働により、地域事情に即した地域福祉活動や在宅介護事業の推進に努められていました。

重層的支援体制整備事業の取り組みの中心に「地域づくり」をおき、暮らしの支え合い検討会という仕組みで各地域の課題・問題点を解決しようとしているが、その体制づくりやシステム化をコーディネートする人物の役割が非常に重要と感じました。

11月15日▼滋賀県東近江市

あいとうふくしモール

「安心して暮らせる

拠点づくり」について

愛東地域の課題解決のためにNP

○法人や個人が集まり、専門性を出し合いデイサービスの運営や障がい

者や高齢者、若者の仕事づくり、また子育てサロンなどの居場所づくり

に取り組み、安心して暮らせる地域づくりを進められていました。

「食」と「ケア」、「エネルギー」が

充足した安心のよりどころを目指し、「福祉モール構想」を打ち出され、

モール内にはカフェやデイサービスセンター、農家レストランといった

各施設がありました。

また、モール内では、里山保全活

動及び障

がい者の

方の就労

支援とし

て、NP



あいとうふくしモール内にある「田園カフェこむぎ」



あいとうふくしモールで使用している薪

動及び障がい者の就労支援として、NP○法人と地域住民で連携して生産している薪を使用した

薪ストーブが活用されているなど、地域内にある事業所同士の連携と地域住民の参加による課題解決に取り組んでいる手法は見習うべきものが多いと感じました。

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に質問を行い、見解などを求めることです。12月定例会の一般質問には通告のあった13名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTube での一般質問録画配信も行っております。

●郡上市 HP > 郡上市議会 HP > 一般質問録画配信 からご覧いただけます。



YouTube

一 般 質 問 一 覧

	議員名	質問事項
1	森 喜 人	1. さらに深まる介護社会に向けて (2)
2	三 島 一 貴	1. 給食のアレルギー対応について
3	田中 やすひさ	1. 地域課題の「活用」 2. 河川空間のオープン化 3. 農業の担い手育成 4. ふるさとコイン
4	山 川 直 保	1. 偕楽園移転先の学校施設の活用について
5	森 藤 文 男	1. 不登校について
6	清 水 敏 夫	1. 高齢社会における自動運転走行車両の導入は 2. 東京都港区と当市の木材調達の取り組みは
7	長 岡 文 男	1. スポーツコミッションについて 2. 通園バス安全装置設置義務化について

	議員名	質問事項
8	田 中 義 久	1. 郡上市国民保護計画について 2. プラスチック製容器包装の分別について 3. ユネスコ無形文化遺産登録について
9	田 代 ま さ よ	1. 口腔ケアの取り組みについて 2. 婦人科のワクチン接種および検診について
10	尾 村 忠 雄	1. 介護予防事業
11	原 喜 与 美	1. 市の山林取得と保全について 2. スマート農林業の推進について
12	野 田 勝 彦	1. 教育としての学校給食の拡充は 2. インボイス導入に係る市の対応は 3. 旧統一協会との関係について問う
13	本 田 教 治	1. 市内の橋梁について 2. 福島県会津若松市について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

※山川直保議員の一般質問は掲載を辞退されました。ご了承ください。

問

市の要介護者数、認知症者数の 今後の見通しは

健康福祉部長



もり よしと
森 喜人

65歳以上高齢者人口は減少するが、75歳以上人口は引き続き増加傾向が推測される

学一導入を

健康福祉部長

要介護認定者数は概ね2700人台で推移、65歳以上高齢者の約18%、75歳以上高齢者の31%である。

要介護者認定者の中で、認知症の症状のある方の数は1700人弱の推定だが、要介護認定を受けていない方も含めると、認知症の方は、全体で2500人を超える程度と見込んでいる。

介護現場での、「回想法」の活用と「介護民俗

き出すことにつながり、その人と深く向き合えるといわれる。

人員不足で逼迫する介護現場で、時間を確保することは困難であるが、改めて介護施設の経営者との交流の機会などにおいて、利用者の尊厳に関する理念や職員教育の状況に触れながら、意見交換を試みたいと考えている。



みしま かずき
三島 一貴

問 給食のアレルギー対応の今後は

教育次長 低アレルゲンメニューの取り組みを進め、
みんなが楽しめる給食を目指したい

10月に行われた保護者向けの説明会の参加状況

は
長尾教育次長

3回実施し合計84名が参加した。

今回食物アレルギー対応メニューをなぜ改定したのか

教育次長

年々食物アレルギー対応に必要な児童数が増え、対応が多様化・複雑化し、給食センターの環境・体制において、安全・安心な給食の提供が難しくなってきたため、学校給食で最優先されるべき安全性の向上を図るためである。

食物アレルギーに対しての対応の考え方は
教育次長

まずは、今回の食物アレルギー対応マニュアルの改訂に沿った対応を令和5年度から実施したい。そして給食センターの環境や状況を考慮しながら、

安全性を確保したうえで、できることや対応品目を増やすことができないかなどについて検討をしていきたい。

そして今後も、他の市の対応など、多様な取り組みや実践を参考にして、限られた給食費の中であるが、安価なアレルギーフリーの食材を選定したり、アレルギーに代わる食材を使用してできるメニューを開発するなど、低アレルゲンメニューの取り組みを進め、みんなが楽しめる給食を目指していきたいと考えている。



給食を楽しむ児童

問

地域課題（担い手不足）を 交流資源にする取り組みを



田中 やすひさ

市長公室付部長

人材の受け入れ体制の

構築を検討したい

三輪市長公室付部長

都市部に住む郡上出身者や郡上ファンと地域課題解決につながるような「関わりしろ」を地域や団体の活動などから収集するとともに、それらを発信し、マッチングできる人材の育成や受け入れ体制の構築を進めることを検討する。

これらが構築されることにより担い手不足に悩む地域の課題解決が目指せると考える。

河川空間の活用

河川空間をまちづくり

にもっと活かせないか

小酒井建設部長

河川敷地の活用を進めていきたい。これまで以上に多くの方々に利用いただけるよう、可能な活用や、安全な利用方法の周知などを行う。

また、営利活動のための河川敷地の占用に向けた取り組みに対しては、まずは先進事例などを研究し、地域活性化を目的



市内にある河川空間をもっと魅力的に

に河川空間での事業実施に取り組まれる団体の掘り起こしや、協力体制などについての検討や河川管理者との協議などを行っていききたい。

農業の担い手育成・支援

兼業農家の新たな育

成・支援のサポートは。

また、資材高騰が離農

を引き起こす可能性があ

る。幅広く活用できる支

援を

田代農林水産部長

数の多い兼業農家の育成も必要である。他市の情報も収集しながら支援策を検討したい。

農業者が使いやすい制度が重要である。色々な選択肢を研究し、取り入れていきたい。

問

不登校の児童・生徒の「居場所」づくりと支援の必要性は

教育長

来年度から校内フリースクール

「F組」の設置を考えている



森藤 文男

熊田教育長
市としては現在、校内フリースクールの取り組みについて研究を重ねている。

来年度から、中学校で1校、実験校を指定して、「F組」の設置を考えている。

会計年度任用職員を1名派遣して、生徒や保護者とともに、今まで以上に個に応じたカリキュラムを作成し、学びや活動の場を広げる支援ができればよい。予算や人事上の問題がクリアできれば次年度からスタートさせたいと考えている。

不登校児童・生徒の多様な「居場所」として、フリースクール、校内フリースクール、不登校特例校などが挙げられる。

不登校を社会全体の問題として捉え、児童・生徒が気兼ねなく日常生活を送れる「居場所」づくりを進める必要があると考える。

本市としての選択肢として「居場所」づくりの設置の考え方や支援の必要性について伺う

熊田教育長
市としては現在、校内フリースクールの取り組みについて研究を重ねている。

来年度から、中学校で1校、実験校を指定して、「F組」の設置を考えている。

会計年度任用職員を1名派遣して、生徒や保護者とともに、今まで以上に個に応じたカリキュラムを作成し、学びや活動の場を広げる支援ができればよい。予算や人事上の問題がクリアできれば次年度からスタートさせたいと考えている。



多様な学びの居場所づくりの支援を

問

高齢社会における 市の自動運転走行車両の導入は

市長

**早急な導入は困難だが
さまざまな方法で移動手段の確保を検討**



しみず としお
清水 敏夫

**道の駅明宝で、国土
交通省によって行われ
た、自動運転の実証実
験を踏まえて、市の取
り組みは**
日置市長

平成31年3月明宝で
実証実験が行われ、そ
の後、令和2年3月に
国土交通省から、さら
に長期実証実験を行う
希望があるかとの問い
合わせが、明宝振興事
務所経由であり相談の
結果、引き続き国土交
通省が費用を負担して
やっていただけなので

あれば希望すると回答
した。

しかし、国土交通省
から実証実験の継続に
かかる予算の用意が難
しいという理由で、採
択されなかった。

自動運転・無人運
転の技術は日々進んで
いるため、いずれは無人
運転が当たり前の時代が
必ず来ると考えている。

ただ、今の時点で早
急に導入しようとする
と、経費・安全性、そ
の他さまざまな課題を
解決しなければならず
巨額の経費をかけたと
しても実現は困難と考
える。

しかし、いずれは新
しい技術による景色を
見ることができるとも

考えており、それまで
は、技術の進歩を信じ
ながら地域ごとに、さ
まざまな取り組みを進
めたい。

目的は、地域の皆さ
んの安全で便利な移動
を、どう確保していく
かというところであり
、自動運転はあくまで
そのための手段の一つ
であるから、さまざま
な手段・方法で皆さん
の移動手段の確保を
検討していきたい。



自動運転の実証実験

問

置き去り事故に対応する 通園バス安全装置の設置は

健康福祉部長

**早急に予算計上し、
迅速に対応したい**



ながおか ふみ
長岡 文男

**安全管理マニュアルと
その運用は**

田口健康福祉部長

国は、見落としがない
かを毎日確実に確認する
ためのチェックシートや
バス送迎の業務の流れに
沿ったポイントが整理さ
れた「こどものバス送迎・
安全徹底マニュアル」を
示した。

これを私立園、公立園
へ周知するとともに、公
立園においては、バス添
乗職員だけでなく、運転
手も車内の最終確認を行
うダブルチェック体制な
どのマニュアル改正を行
った。

研修などを通じて、安



郡上市通園用バス

全管理の徹底を図って
きたい。

**スポーツコミッション
の役割である施設利用
などについてのワンスト
ップ窓口の対応は**
長尾教育次長

「吹高原スポーツ広場」
については、直接「ミッ
ション」が受けつけてい
るが、「まん真ん中広場」
などの施設については、
各振興事務所や指定管
理者が窓口業務を行い、
合宿などに関する場合は、
コミッションが対応して
いる。

特に「まん真ん中広場」
においては、早急に一元
管理にしたい。弁当の手
配やキッチンカーの出店
「フォレストパーク」や
「子宝の湯」、「日本まん
真ん中センター」などの
活用を検討し、地域の活
性化に繋がるよう、地域
の皆様と協議しながら進
めていきたい。

問

郡上市国民保護計画は 市民に周知されているのか



田中 義久
たなか よしひさ

市長 ホームページだけでなく
CATVなどでも周知したい

北朝鮮のミサイルに關して、市民の避難、救援、被害の最小限化は市の責務である。計画の周知が大事である。

国県からこの件で事務連絡は何かあるか

日置市長

計画にはミサイル発射時の対応が書かれている。県からは住民に注意事項を周知するよう通知があった。しっかりと取り組んでいく。

熊田教育長

国は「学校の危機管理マニュアル作成の手引」の改訂案を示しており、安全確保の基本的対応について弾道ミサイル対応を含め、保護者と学校に通知した。命を守る訓練は小中すべての学校で行っている。

プラごみ処理の今後は

2年前からプラスチック製容器包装が「燃える

ゴミ」となったが、助燃

効果やリサイクル率の推移、今後のクリーンセン

ター建替えはどうか
猪俣環境水道部長

プラスチックの発熱量は試算しているが正確な助燃効果の分析は困難。

リサイクル率は近年減少した。分別を強化し20・2%を目標に努力する。クリーンセンターは令和11年に新施設の供用開始を

目指し、建替えを進める。

遺産登録の記念事業は

郡上踊と寒水の掛踊の

ユネスコ無形文化遺産登

録を契機として、来年度に内と外へ向けた記念事業ができないか

市長

新年度には市民と共に喜び、継続発展のための何らかの記念事業を行いたい。令和6年の国民文化祭は岐阜県開催なので発信の機会となる。検討していく。



決定直後、喜びの挨拶をする日置市長

問

高齢者における

口腔ケアの取り組みは

健康福祉部長



田代 まさよ
たしろ まさよ

介護予防教室では歯科衛生士による口腔ケアの健康教室を実施している

を行っている。

市民への働きかけとして、75歳以上の方を対象にさわやか口腔健診を行っている。

令和3年度の受診者は125名で受診率は1.5%となっており、受診率の向上を目指している。

40、50、60、70歳の方を対象とした歯周病検診も実施している。令和3年度の受診者は95名で対象者における受診率は4.5%となっている。さらなる啓発が必要と考えている。

「お口ポカン」など口腔機能発達を意識している保護者は3割未満である。どのような対策をされているのか

長尾教育次長

コロナ禍において、家庭での生活が多くなり、歯磨きや口腔ケアが減少し虫歯や歯周病などの口腔異常が認められる子どもが増加傾向である。

歯と口の健康づくりのため、保護者や子どもにもプロフェッショナルの指導や「お口ポカン」などのリスクも伝え、今後も継続して口育を推進していく。



※「お口ポカン」とはいつも口が開いている状態のことです。

問 介護予防事業の現状と今後の対策は

市長

健康寿命を延ばすため、

機会を捉えて参画いただきたい



おむらただお 尾村 忠雄

田口健康福祉部長

この事業は住民主体の通い場を充実させ、人とのつながりを通じ、健康づくりの機運を高め、要介護状態への移行を遅らせ、健康寿命の延伸を図ることを目的に実施している。

サロン活動事業状況は
健康福祉部長

活動は、生きがいや仲間づくり、孤立・閉じこもり予防などが期待できる。会場使用料が発生した時は、市の施設への変更、利用料

金の減免措置もある。

また、世話人や後継者の不足、男性の参加者が活動に参加できる仕組みづくりなど、市として支援のあり方を検討していく。

フレイル予防教室は機能を持続するために必要と考える。現状は健康福祉部長

フレイルとは健康な状態から要介護状態へ移行する中間の段階と言われる。実施は市内の施設5か所で、指導者は専門職で行い、口腔機能は歯科衛生士、管理栄養士で行っている。また、ミニディスプレイでも行っている。

日置市長

高齢化の中、要介護



高齢者の多様な居場所づくり

状態を防ぎ、健康寿命を延ばすことが大切である。フレイルは身体的・認知的・社会的の3つの要因がある。現在コロナ禍の状況なのか、フレイル状態を脱していくには、全体で支え合い、健康は自分で守ることが大切である。



はらきよみ 原 喜与美

問 市の山林取得と保全対策は

市長

取得は現時点では考えにくい
山林の多様性から保全の支援策を検討

田代農林水産部長

スマート農林業の一環として、ドローンの操縦講習に対する支援は

また、海外資本などの大資本の介入に備え、県の「水源地域保全条例」で長良川源流域の本市は多くの林班を指定され、エコ体制が整えられ、守られている。

兵庫県の佐用町では、町民が手放す希望の山林の買取りや寄付を受け、町で保全管理を行う政策を始めたが、本市での取り組みは

日置市長

現時点では買取りや寄付を受けることは、まだ早く非常に難しいと思う。所有者の方には山林が持つ多様性から、市としても保全に対する支援策を検討しているので、何とか自ら管理するか、委託するかなどして、しっかりと維持管理を願いたい。

市内の大規模農家では7件が機械導入をして活用している。
農耕地でのドローン作業には資格の必要は無く、運行規制を守れば許可されている。
今後、ドローンをはじめとするスマート農林業技術についても効果が期待できるものには、講習や資格の取得と、技術の習得に対する支援を検討したい。
ドローン本体の導入に対する支援もすでに行っている。希望する農林業者は相談してほしい。



佐用町役場で担当者から説明を受ける

問

学校給食を安全な オーガニック食材へ転換を



の だ かつ ひ こ
野田 勝彦

熊田教育長

オーガニック食材の使用は、子どもたちの食育、健康教育にとってもよいことである。

高価格、安定供給、品質保持などの課題のクリアが可能かを研究し、少しずつでも市内産の有機農産物の提供を検討したい。

今年度から始まった学校給食の「郡上の大地を味わう日」の事業について、実施してみてもの評価あるいは今後の方向はどのようなか

日置市長

年間10回ほど、郡上の農林水産物食材を味わってほしいと市が予算措置をして実施してきた。アンケート調査では子どもたちには概ね好評のようである。

また生産者の思いや苦労などについても子どもたちに紹介している。課題もあるが来年度も継続したい。



「味わう日」のメニュー

インボイス導入に係る市の対応は
加藤総務部長

免税事業者との取引で、仕入れ控除できない分の消費税を市が負担することになっても、入札などから免税事業者を排除することはせず、総務省の通知に従い、法に基づく適正な対応をする。

旧統一協会との関係は
市長

「PEACE ROAD 2022 in Gifu」への後援名義許可申請書が提出され、内容を審査して妥当と判断し許可した。その後、先方から、安倍元総理の逝去を理由に当催事を中止のうえ、後援許可の取り下げを申し出られた。それ以外の接点はない。

問

市内の橋梁点検において 緊急に修繕が必要な橋梁数は

建設部長

緊急に措置が必要な橋は

今のところない



ほん だ きょう じ
本田 教治

市内の橋梁点検の頻度と、その点検の結果、緊急に修繕が必要と思われる橋梁の数はどれくらいあるのか

小酒井建設部長

市内には2m以上の市道橋梁は、現時点で約900橋あり、5年に1回の頻度で点検を行うことが義務付けられている。

平成26年度を初年度として行ってきた点検は1巡目が完了している。現在、2巡目の点検を順次実施しており、

緊急に措置が必要と判断する橋梁は今のところない。

市内南部の鈴原地区と西乙原・東乙原地区から県道と国道を結ぶ橋梁新設の要望が出ているが状況は

建設部長

市としても、財政的にも厳しい状況である。今後の課題として、

各関係機関との調整を図っていくなど、市として一番良い方法を研究していきたい。

凌霜隊顕彰会の継承について市の考えは

可児商工観光部長

顕彰と継承を目的とするその他の団体との連携で、郡上藩凌霜隊顕彰会への賛同者確保



「会津まつり」参加の凌霜隊

クイズの答え 《 第74号出題 》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は69件でした。
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ①太陽光パネル 問2 ①2人 問3 ①「北小ソーラン」

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・ご感想の中から、一部を要約して紹介します。

● 昨年他県から越してきました。大変住みやすい街で、移住者にも地域の方、職場の方も温かく迎えてくれ、自然豊かな地域に加え、子育て制度もかなり充実していたため、子育てもしやすいので、郡上で子育てをしたい！と、先日第一子を出産しました。ずっとずっと住み続けたいと思える街です。

ただ1つ、賃貸住宅が少なく、定住の為に、もっと物件があれば嬉しく思います。この街を同じように好きになる郡上市外の方はたくさんいると思います。そういう方を取り込む為に、衣食住の「住」の充実、ぜひよろしく願います。

● 11月2日の新聞記事で、郡上おどりが「風流踊」無形文化遺産へ申請手続されたことに、今後の期待が膨らみました。人口減少等で、傳承していく課題の困難等が多くありますが、郡上の地域の成長戦略のひとつとして期待したいです。 八幡 66歳

● クイズのおかげで議会だよりをしつかり読むことができ、内容が頭に入ってきました。 八幡 27歳

● 郡上へ嫁いで50年、知らないうちにこんな年になりました。住みこちが良く郡上の人の人柄の良さに満足しております。感謝です。

● 文化センターに太陽光パネルが設置してあったなんて、この議会だよりで知りました。そして売電収入が7か月で63万5千円ほどであったなんてさらにおどろきでした。 八幡 54歳

● 高鷲北小の北小ソーラン、生き生きと演技していたので、とても素晴らしいと思いました。表紙に取り上げていただき、大変感謝しています。表紙の印象が一気に鮮やかになると思います。 白鳥 42歳

● 日本一の踊りの街郡上にするには子どものうちから踊りに馴染み聞き覚える事は必要だと思います！踊りの内容の意味もありますから、ただ踊るだけではなしに歌詞の意味なども子ども達に教えて欲しいです！ 明宝 68歳

● 長良川鉄道を小学生以下の子どもは

無料にしたらどうか。大人が同伴の子ども限定や、期間限定、曜日など限定でもよい。そのようにしてもらえると、親の私たちも気楽に長良川鉄道が使えると思います。

● 最近足腰も弱く出かける事が出来ず広報郡上、議会だより等、時間があるのでスミズミまで読み楽しんでいます。これからも色々情報下さい。待つてます。 大和 81歳

● 環境水道部環境課はコンポスト等にも積極的に取り組んでおり、いろんなアイデアに驚かされています。環境に関わることに、私たちにできることは、私たちも意識改革して取り組んでいかなければいけないと毎回考えさせられています。 八幡 39歳

● 今年4月に郡上に引っ越してきて初めての秋の季節です。せせらぎ街道以外にも、ものすごくきれいな紅葉を見られることを知りました。また、いたる所にまっかな紅葉（もみじ）があり、杉の緑の木に黄色のイチヨウがある。素朴ですが、ものすごくきれいだと思っています。

大和 50歳

クイズに答えて 郡上市共通商品券を ゲットしましょう!



問1 白鳥町にある県の重要文化財に指定されている建築物は?

- ①若宮修古館 ②若宮家住宅
③白鳥ふれあい創造館

問2 11月臨時会における一般会計補正予算の増額は?

- ①3億6009万8千円 ②4億3711万7千円
③294億9197万8千円

問3 3月定例会の開会予定日は?

- ①2月20日 ②3月24日 ③2月24日

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。QRコードからでも応募できます。当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。



ご意見は

ご応募に合わせて皆さまの声も是非お寄せください。お寄せいただいたご意見の一部について、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地

郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

締め切り:令和5年2月24日(金) 当日消印有効

※ご応募いただいた個人情報 は目的以外に一切使用いたしません。

※皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員及び市長はじめ執行部に報告させていただきます。

表紙写真説明

伝統の米づくり

地域とともに

川合小学校では、毎年5年生が学校田での米づくりに取り組んでいます。地域の方を講師として、田んぼの土づくりから始まり、田植え、水の管理、草取り、稲刈り、脱穀に至る様々な作業を教えていただいています。

写真は、稲刈り後「はざ」にかけて乾燥させた稲を脱穀する時の作業の様子です。天日に当てる乾燥させるのが一番美味しいと教えていただき、昔ながらの方法で行っています。

今年は90kgのお米が収穫できました。自分たちで育てたお米を炊いたごはんの味は格別でした。とれたお米は、川合地区の師走市で地域のみなさんにも販売しました。大好評であったという間に完売しました。

地域とともに行う米づくりは、子どもたちの心も豊かに育てることにつながっています。

3月定例会の予定

月	日	曜日	会議の内容
2月20日	月		議会運営委員会・全員協議会
2月21日	火		総務常任委員会協議会 産業建設常任委員会協議会
2月22日	水		文教民生常任委員会協議会
2月24日	金		開会・議案説明
2月28日	火		議会運営委員会・予算特別委員会・本会議
3月2日	木		
3月3日	金		予算特別委員会
3月6日	月		
3月8日	水		
3月9日	木		予算特別委員会・本会議
3月10日	金		総務常任委員会
3月13日	月		産業建設常任委員会
3月14日	火		文教民生常任委員会
3月16日	木		
3月17日	金		一般質問
3月20日	月		
3月23日	木		議会運営委員会
3月24日	金		閉会

※開会時間は原則9時30分です。

日程・時間は変更になる場合があります。

編集後記

日頃は議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。さて全国における新型コロナウイルス感染症については、12月始め頃から、第8波に突入したとのことであります。この感染拡大に対して早急な対策が望まれる所であり、いずれにしても基本的には、凡事徹底することがいつの時でも大

切と考えます。そうした中で、昨年の朗報としては、モロッコで開催されたユネスコの世界文化遺産に登録。その中で、岐阜県では「郡上踊り」「寒水の掛踊り」が登録されたことです。地域で守りつないだ伝統が世界に認められたことは歴史に刻まれる1ページと受けとめています。

広報広聴 特別委員会

委員長
副委員長

渡辺友三 森藤文男
田代まさよ 長岡文男
尾村忠雄 本田教治
田中やすひさ
野田勝彦

